

ホメオパシー

2009.5

健康とは？ 病気とは？ 症状とは？ 何でしょうか？
健康 easy. 病気 disease 症状は何か現れるのでしょうか？
(自由) (不自由)

入門編



《ホメオパシーの父》

200年前、ドイツ人の医師ハーネマンが原理を発見!!

当時、マリアアの治療薬キナが苦いので効果があつたときもいけなかった。

疑問を持ったハーネマンは自らキナを服用してそのマリアアに似た症状が現れいづかに消失していった。そして何度も繰り返してホメオパシーの原理である似たものが似たものを治すことを発見したのである。

その後、原料物質の分子が「なごりレベル」で薄めれば副作用は無くなり、効果は高く深くなることに気がついた。

レメジは、物質レベルに作用するのではなく、もっと深い微細なレベル(エネルギーレベル)に作用することに気がついたのです?

ホメオパシーって何?

HOMEOPATHY 類似療法
HOMEO + PATHY (造語)
似たもの 苦しめ病氣

似たものが 似たものを治す。
健康の人に投与して症状を起すのと同じ症状を持つ病気の人を治すことである。
例えば...
のどがひりひりする人がしょうが汁を飲むとひりひりが治まる。健康の人がしょうが汁を飲むとのどがひりひりする。

- ホメオパシーの盛んな国 (欧州、インド、南米、中東、オーストラリア)
EUH: インド、南米、中東、オーストラリア
- ホメオパシーの盛んでない国
日本、米国、中国、英連国

ホメオパシーは自然界のその植物、動物、動物のエネルギーを借りて VITAL FORCE (バイタルフォース) (生命エネルギー) の力を発揮させ、自然治癒力の発現を促す療法です。

VITAL FORCE
生命 内在する力
生きている。その人を保ち続ける力。
氣のよりに目には見えませんが、
「力」を勝手に治すのも V.F. の力です。

症状は おりがたくなれば、おりがたくなるもの
症状は 痛みや苦しみにして表現され、それにより
本人に気がつきやすくなる唯一の存在であり、決して
悪いものではありません。

- ① 治療の機会がなくて抑えておかないと、後進させず。
- ② 向きが正しいとすれば、病の表現。

その人の症状像(全体像)に似たレメジを飲むことで本来持っている自然治癒力を高め、その人本来の健康の姿に戻していくことができます。

「その人のエネルギー」と類似(英語)な「モノのエネルギー」を投与します。

元々病氣は「その人のエネルギー」が病氣を起す奇跡の方向があります。進むべき「治癒の道」に逆行してしまっているその人を導いてあげます。

新薬 → 症状を抑えるはその時、薬に頼る根拠は少ない。

レメジ → 病んでいる人と類似したものを飲むと症状を治す(全うする)ことで健康になる。

病氣に気がつくのではなく、「その人」に気がつく。「その人」が健康を獲得した結果、症状が解放されることなのです。治療ではなく健康法と言った方がよいです。

* レメジの交因果

レメジが合えば、「一次的悪化」があり、一般的に急性症状は発症期間、慢性症状はやや長時間で、V.F. が病氣の原因を押し出さずにおおむねです。レメジが合えば副作用は起こりません。

* レメジは恐ろしく薄められています。例えば30c あれば薄くて分子は約10の60乗分の1の濃度です。6c-30c、200c、1M(1000c)等、数字が大きいほど濃度が薄くなるが深い原因を導き出す。200c以上は専門家の処方が必要。

レメジを飲むだろう どのくらいあったのか、その経過を観察し書き留めましょう。

治療の方則(ハリングの法則) いずれも一時的、期間は個人差、症状にも別個。

1. 心から身体へ(内臓の不調の高利、やがて精神、行動の減少)
2. 中から外へ(熱、下痢、胃のむくみ、嘔吐、発疹等)
3. 上から下へ(頭、顔、首、身体へ、お腹から膝へ等)
4. 重要部位よりそうでない部位へ(内臓から四肢へ等)
5. 期近の症状より古い症状へ順番に。

レメジを「人間のよう」にイメージすると理解しやすくなります。

これは「類似の法則」による「その人の症状像」と「レメジの症状像」とを比較検討するのだからです。

「全体的な症状像」が似ているという(比)効果が高いです。その原料が元々どんなものか、どんな特性(毒性)があるのか、必ず考えれば理解しやすくなります。そのレメジのエネルギーの量(全体像)を予測しています。

ホメオパスは、レメジをどう探していくのでしょうか?

「マテリアメディカ」というレメジの薬効書と「レポーター」という症状別の検索辞書があります。この2つを使い、その人の症状と全体像に最も類似したレメジ 1つを選びます。マテリアメディカは「健康の人に与えたり何が起こったか」という実証データの集りからなっています。

レメジの飲み方

- 舌下に入れてゆくり溶かします。
- その前後20分は口にも水を入れないで下さい。
- 歯みがき、歯の治療、お薬の内服前夜に避けて下さい。
- コーヒー、お酒、タバコは飲まずに控える方が良いでしょう。
- 決して飲み過ぎてはいけません! 基本的に30cレベルなら1日1粒で充分です。

セルフケアでは無理をしないで下さい。

「困った病院へ」が原則です。病院に行かなくてもホメオパシーが出来ることあるので、できるところを頑張るふよりにしましょう。

特に子供に与える場合は、親の心配や不安がレメジ以上に影響を及ぼすので注意です。大丈夫、と安心感を与えることが大切なのです。



ホメオパシーは誰かに治してもらう「治療法」ではなく、自ら治そうとする人をサポートしていく「健康療法」です。人が健康になるに際して、次第にその症状を開放されてゆきます。その過程を軽微な時、一時的に症状が強くなることもあり、それは乗り越える必要があります。

ホメオパシーセッションは最低でも2〜3日時間、必要とすれば2日目を降すその半分程度の時間に行うことができます。

